



第 16 回 例会 報告 (11月5日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	54名	・出席数	40名	・欠席数	14名
・当日出席率	76.50%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員> 平田、板脇、片山、木村、西本、大澤、岡本、坂本、田崎、辰巳、八木(伸)、渡辺

[免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)

<10/22 欠席補填> (10/12 今治北) 阿部、久米、矢野、辰巳、吉田 (10/13 今治南) 見乗、坂本、大澤
 (11/2 今治北) 平田、小堀、楠橋、宮道

◇**会長報告**・大河内雅徳会員のご長男(拓未)様が10月27日にご結婚されました。おめでとうございます。

・ロータリー財団より、村上裕一会員、青野淳一会員へマルチプルポールハリスフェローピンが届きましたので贈呈しました。

◇**幹事報告**・例会終了後、ロータリークラブ事務局にて11月定例理事会を開催しました。

◇**親睦活動委員会・お誕生日スピーチ**・宮道勝敏会員：今年は新型コロナウイルスの影響で「どん底」まで落ちましたが、ここから先は上昇あるのみ、前向きな気持ちで頑張っていこうと思います。▼村上裕一会員：コロナ禍の生活で料理の腕がアップし、MY包丁も買って美味しい料理を作り、少し太ってしまいました。来年は通常例会に戻れますように状況を見定めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会アワー

◆**田中良史会員「国際奉仕と青少年奉仕:Part2」**:今週も絶賛につき国際奉仕委員会アワー用スライドを用いまして、「ロータリー(RI)とボーイスカウト(BS)は似ているかも？」Part2をお話させていただきます。まず、前回のおさらいとしてテストを行います。ボーイスカウトの創立者は誰でしたでしょうか？正解は英国の軍人であったロバート・ベーデン パウエル(BP 卿)です。なお、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の理事長は早稲田大学第14代総長を務められた旧日吉村出身の奥島孝康氏です。早稲田大学OBの皆さん、ご紹介が遅れましたことお許し願います。▼ボーイスカウト運動の目指すべきものは、「社会のリーダーを育てること」です。ここでいうリーダーを育てるとは社会に出て率先して、より良き社会を築いていける人を育てようということで、この考え方はロータリー活動とも似ていると思います。また、社会奉仕に関する考え方も似通っている部分があると思います。▼ボーイスカウトのカリキュラムはビーバースカウト(小学校1年生4月～、年長組の1月から仮入隊可能)カブスカウト(小学校3年生4月～)ボーイスカウト(小学校6年生4月～)ベンチャースカウト(中学校3年生9月～)ローバースカウト(18歳～25歳)があります。どこから始めても良く、子供さんの影響でボーイスカウト活動を始め指導者になれる方も多数いらっしゃいます。▼ボーイスカウト教育の特徴は「あくまでも青少年の自発活動であること」です。各部門で一貫したプログラムや思想があり、ビーバースカウト、カブスカウトでは「楽しみながら学ぶ(指導者も一緒に)」、ボーイスカウト以上では「楽しむために準備する(指導者はファシリテーター)」などがあります。▼ボーイスカウト運動が抱える大きな問題としてスカウト人口の減少があります。ボーイスカウトの世界人口は今年度中5,000万人を突破する勢いですが、日本連盟は各県とも減少中であり、ここあたりもロータリーとの共通点かもしれません。少子化だけが原因ではなく、今後のプロモーション、組織的な団運営の促進が必要だと思われます。ちょうど時間となりましたので、皆さん、2週に亘りご清聴有難うございました。

次 回 例 会 (11月12日)

【 ロータリー情報委員会アワー 】

<会員誕生日祝> 大澤 正尚氏 (11/13) 眞鍋 次男氏 (11/16)
 <配偶者誕生日祝> 青野 淳一氏 (11/18)

[笹]